[redacted]

編 集 後 記・Editorial notes

37巻掲載論文は下記の先生方のご校閲をいただきました．ここに厚く御礼申し上げます．

会田勝美，尼岡邦夫，D. M. Cohen，藤田　清，深尾隆三，後藤　晃，濱口　哲，G. S. Hardy，A. S. Harold，井田　齊，石原　元，飯沢靖男，岩永敏彦，岩田明久，岩槻幸雄，片野　修，木村郁夫，木村清志，M. Kottelat，桑村哲生，P. R. Last，K. F. Liem，町田吉彦，丸山　隆，松浦啓一，J. E. McCosker，J. D. McEachran，宮　正樹，三宅　力，P. J. Motta，中園明信，J. G. Nielsen，西田清徳，越智晴基，落合　明，大石　正，岡村　収，岡崎登志夫，沖山宗雄，大竹二雄，大谷　修，R. Riehl，A. F. Rowley，斉藤　宏，坂本一男，澤田幸雄，佐原雄二，瀬能　宏，千田哲資，V. G. Springer，K. J. Sulak，高橋裕哉，多紀保彦，田北　徹，谷口順彦，谷内　透，富永義昭，塚本勝巳，上野紘一，上野輝彌，J. P. Wourms，矢部　衛，山森邦夫，山岡耕作，柳沢康信，吉江紀夫，座間　彰．

本号を最後に，Managing Editor を多紀保彦編集幹事に交代していただくことになりました．4年間，皆様のご協力をいただいて，楽しく務めさせていただきましたことを，心より感謝いたします．同時に，私の力不足から，著者や読者の皆様にいろいろご迷惑をおかけしてしまいましたことをお詫びいたします．論文の投稿状況は相変わらず順調で，外国人からの投稿も増え，本誌も着実に発展を続けているように思います．今後とも魚類学雑誌をよろしくおねがいいたします．　(T. S.)